

組織目標評価報告書（平成24年度）

部局名： 学生支援センター

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標	
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
②研究領域	自己評価
②-1 目標	
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
③社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
③-1 目標	
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
④センター業務	自己評価
④-1 目標	
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
【総括記述欄】	
<p>平成24年度のセンター業務(学生相談体制の充実とカルト被害防止のための啓発活動、障がい学生支援体制の充実、研究奨励金制度の見直しと学生雇用制度導入の検討)の達成状況は、いずれも良好であった。</p> <p>学生相談関係は、今年2月学生相談室に特任助教が採用され学生相談体制の充実が図られた。また大学の内外で、カルト団体の勧誘活動は続いており、カルト対策は引き続き継続していく必要がある。</p> <p>障がい学生支援関係では、大学コンソーシアム岡山に「障がい学生支援委員会」の設置が決まったので、来年度からは地域の大学とも連携しながら障がい学生支援の充実を図る体制を整えたい。</p> <p>研究奨励金制度については、来年度から国際学会に限定した新たな制度になるので、円滑に運用されるように管理運営していく必要がある。</p> <p>学生の学内雇用制度についてWGで答申された内容を精査し、可能な限り実施できるように体制を整えたい。</p>	